

(様式2)

プール血清及びバルク乳を用いた ELISA 法による農場の牛白血病ウイルス抗体陽性率の推測：伊那家保  
大泉卓也

1 牛白血病対策には農場における牛白血病ウイルス  
2 (BLV)浸潤状況調査による感染牛把握が重要だが、検  
3 査手数料の負担、採血の労力により頻回検査の困難等  
4 が課題。そこでプール血清及びバルク乳を用いたエラ  
5 イザ法(EL)により農場におけるBLV抗体陽性牛(陽性  
6 牛)有無の判定と陽性率推測の可否を検討。試験1：  
7 陽性牛プール血清の希釈系列ELでは陽性率1%まで  
8 陽性牛検出が可能。陽性率推測は困難。試験2：農場  
9 毎プール血清ELでは陽性牛有無の判定が可能。試験  
10 3：陽性牛プール乳清の希釈系列ELでは陽性率5%ま  
11 での陽性牛検出と陽性率推測が可能。試験4：バルク  
12 乳ELによる推定陽性率は個体毎の血清を用いた陽性  
13 率と概ね同等。試験5：バルク乳ELによる管内酪農  
14 場の陽性率調査では、浸潤状況調査未実施農場34戸  
15 中18戸に陽性牛が存在すると推測。BLV清浄性確認  
16 検査にもプール血清及びバルク乳利用で検査手数料の  
17 負担が軽減、バルク乳利用で頻回検査が可能と考察。